

そらこめ通信

No.18 2012.01発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

2012年が明けました。昨年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
さて、昨年は、女子サッカーにおいて日本代表の「なでしこジャパン」が世界を制し、日本中に大きな感動をもたらした年でしたが、一方、東北地方を襲った大地震や大津波、それに起因する原発事故など、日本人がかつて経験した事がないほどの大きな災害が起きた年でもありました。たくさんの方々が尊い命を失いました。被災地では今でも多くの方が不自由な生活を余儀なくされており、その中には、我々と同じように農業を生業にされている方もたくさんおられるのではないかと拝察いたします。

農家にとって、ご自身の住宅が被害に遭われることに対するショックは言うまでもありませんが、今年の作付けの目処が立っていないという状況の方が、実は精神的に堪えるのではないかと思います。マスコミなどの報道でこういった惨状を見聞きするたびに、とても不謹慎なことかも知れませんが、被災地から遠く離れた北海道でよかった…と思う自分がいます。そして、それはいつ自分たちがその立場になっても決して不思議ではないのだ…という想いに置き換わるのです。被災地を支援する事はとても重要。同時に、自分たちは今のこの「価値ある暮らし」をきちんと認識し、守る努力を惜しんではいけない…。昨年は、そんな教訓をもらった年でした。



12月9日～10日の2日間、札幌ファクトリーにおいて「アグリビジネス創出フェア」が開催され、弊社の「ゆきさやか」が展示されました。



北海道農業研究センターさんのブース…ここに弊社が生産した「ゆきさやか」がありました。 拓殖大学で農業セミナー(12月13日)



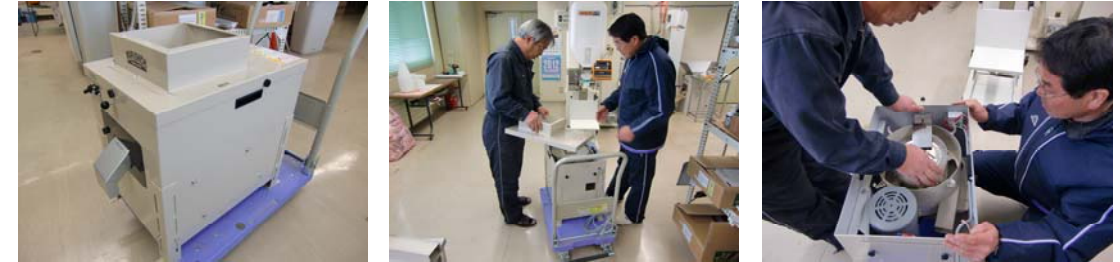
農業セミナーにおける講師の方々(左から、黄倉良二氏、大塚裕樹氏、藤原定氏、山川八重子氏の4氏)
12月13日、拓殖大学北海道短期大学(深川市)で第45回農業セミナーが開催されました。テーマは「誰が農業を担うのか?」「担い手の世代交代」というサブタイトルがついていました。4氏ともに素晴らしい講演内容でした。



農業セミナーにおける昼食会のようす。写真中央は拓大で開発した赤米「芽生さくらむらさき」を使用した「ちらし寿司」。



セミナーの最後に学生達から質問を受け、熱心に答える黄倉さん。農業後継者でもある学生たちを見て安心感を覚えました。



12月17日、「研米機」を導入。これにより、細かい「米ぬか」の混入を未然に防ぐことができ、品質の向上が期待できます。



12月後半、昨年と打って変わって豪雪に見舞われました。

2012年1月1日9時頃の弊社の全景です。今年こそは日本中が笑って過ごせる1年になりますように…。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い致します。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です(見て下さいね)